

合同会社ぶろぐれす（三笠市）

**地域の活性化なくして事業の発展なし
三笠をPRし市民参加型の企業経営を目指す**

社長の思い

地域を活性化させる事によって、地域と共に企業も発展していく事が出来ると考える。その為には地元企業の応援、地元農産品の利用、多くの市民の協力が必要であり、当社が特産品の開発、販売を行うことにより三笠のPRを兼ねながら、市民参加型の企業として地域に貢献出来ればと思う。

企業概要・背景

「まちおこし工房ぶろぐれす」として、三笠市の食材にこだわって新しい特産品を考案、販売し、そのことがまちおこしに繋がっていくことを願って設立した会社。雑誌やテレビにも取り上げられ注目を引いている。

活用した強み・とらえた機会

[強み]

山菜の収穫については市民から買い入れを行う等、地元企業や農家さんを含め、多くの人々の協力を得られる事。

[機会]

移動販売車の導入にあたって、手頃な価格の中古車輦が市場に出ていたこと。政策金融公庫が車輦導入資金並びに運転資金を融資してくれたこと。

先進性・独創性・特徴

「石炭ざんぎ」

ざんぎを石炭になぞらえ、イカ墨で黒く色づけ、三笠産の醤油、りんごジュース、行者にんにく、玉ねぎ、にんにくを使用して製造した製品。移動販売車で道の駅にて販売。

そのほかに、三笠で採れる野菜、山菜をフリーズドライ製法で加工、販売している。

今後の展望

まだまだ精進中。仕込みをすべて自分たちで行っているため1日の販売数量に限られてはいるが、なんとか事業を軌道に乗せ、「石炭ざんぎ」の移動販売からあがる収益をもとに、三笠産の食材等を使った新製品の企画、販売を行っていきたい。

事業所データ

代表者	武田 悌一
業種	製造業（食料品、ざんぎ、山菜）
創業	平成18年設立
所在地	三笠市宮本町509番2
電話	01267-2-7467
URL	http://www.geocities.jp/progress3_2006/

